

# 地域の生産者と連携したマルシェに新分野展開して事業再構築します！

## ▶ 現在:洋菓子店



## ▶ 新事業:市場型店舗 マルシェ



新鮮な地域特産品



仕入とも連動する画像認識AIレジ



つくばブランド商品の開発・デモ販売



フードロス削減

事業者名  
所在地  
主な業種  
事業概要

有限会社コート・ダジュール  
茨城県つくば市  
飲食料品小売業  
ケーキ、生菓子、焼菓子等を製造・販売する洋菓子店の経営

設立  
従業員数  
認定支援機関

1991年  
102人  
株式会社筑波銀行

## 洋菓子店から地域の特産品を販売するマルシェ事業に進出

- 当社は、つくば市内に3店舗を展開する洋菓子店です。創業以来27年間、地域の新鮮な生産物を中心とする厳選素材を使ったケーキや生菓子・焼菓子等の商品を開発・提供し続け、各種SNSのフォロワー合計が3万人を超えるなど、多くの方からご支持を頂いています。
- しかし、一昨年来のコロナ禍で、祝い事や外出自粛等の影響を受けて、贈答品・嗜好品である洋菓子の需要が激減。行列ができていた店舗は閑散とし、経営は大きな打撃を受けました。同時に素材を提供いただいている生産者も出荷量が減少し、苦境に立たされました。
- しかし、この状況を再構築のチャンスと捉え、当社の強みである商品開発力と発信力を生かし、生産者と消費者が直接交流・販売できるマルシェ(フランスの"朝市")事業に進出する決断をしました。

## 最先端技術を活用して高収益かつ人と環境に優しい店舗に

- 地域の生産者と連携して新鮮な果物や生花・特産品を仕入れ、専門店が出店しているような売場を構築します。素材を生かした当社の洋菓子に加え、使い切れなかった食材も商品化。プロジェクターで商品の製造工程を流し、産地を実際に訪問しているかのような演出等を行い、食の楽しさと地域の魅力を体験できる場にします。
- 画像認識で素早い会計ができるAIレジを導入、サイトでの商品予約とも連動させて待ち時間を削減するなど、少ない接触での買い物を可能にします。他にも、フードロスを生まない仕入を実現する情報分析など、先端技術を活用して、人と環境に優しく、安心して来店でき、かつ収益率の高い店舗にします。
- 補助事業で店舗建設のための投資を行い、補助事業終了後5年目で新規事業の売上比率18.6%を計画しています。

## つくばブランドの発信拠点として地域の皆さんと共に歩み続ける

- マルシェが「つくばブランド」の世界への発信拠点になることを目指して、筑波大学や生産者との産学連携でおいしく安心安全な6次化商品を開発中です。これを通じて、コロナで悪化した生産者の経営改善にも貢献しながら、日本のスイーツ界を牽引していきます。
- 先端技術の活用やフードロスの削減といった高収益化により経営を安定させて、確実な雇用と賃金引き上げを実現し、喜んで働ける、また次世代を育て続けられる企業でありたいと考えて、理念に合致する大規模貸金引上枠で申請しました。
- 育ててくれたお客様や力添えをしてくださる方々に恩返しをするために、どんなことがあっても前を向いて挑戦し続け、地域の住民や生産者の皆さんと一緒に歩んでいきます。